

高浜発電所2号機の原子炉起動および調整運転の開始予定

2026年6月18日

関西電力株式会社

第29回定期検査中の高浜発電所2号機（加圧水型軽水炉 定格電気出力82万6千キロワット、定格熱出力244万キロワット）の原子炉起動および調整運転の開始予定等は次の通りです。

第29回定期検査開始	: 2026年1月23日（実績）
原子炉起動	: 2026年6月19日
臨界	: 2026年6月19日
調整運転開始	: 2026年6月21日
本格運転再開（総合負荷性能検査終了）	: 2026年7月16日

以 上

（添付資料） 高浜発電所2号機 第29回定期検査の概要
（別紙） 高浜発電所2号機 第29回定期検査の作業工程

高浜発電所 2 号機 第 29 回定期検査の概要

1. 主要工事

(主変圧器取替工事) (図－1 参照)
主変圧器のコイル絶縁性能が経年劣化の傾向にあるため、予防保全として主変圧器を取り替えました。

2. 2 次系配管の保全対策 (図－2 参照)

当社の定めた「2 次系配管肉厚の管理指針」に基づき、2 次系配管の 869 箇所 (主要点検部位: 110 箇所、その他部位: 759 箇所) について超音波検査 (肉厚測定) を実施しました。その結果、必要最小厚さを下回っている箇所および次回定期検査までに必要最小厚さを下回る可能性があるとして評価された箇所はありませんでした。

また、今後の保守性を考慮した部位 4 箇所、および他の作業 (弁取替え) の施工性を考慮した部位 1 箇所、の合計 5 箇所を耐食性に優れたステンレス鋼の配管に取り替えました。

3. 蒸気発生器伝熱管の渦流探傷検査結果

蒸気発生器 3 台 (A、B、C) のうち、B－蒸気発生器伝熱管全数※について渦流探傷検査を実施し、異常のないことを確認しました。

※B: 3, 382 本

4. 燃料集合体の取替え

燃料集合体全数 157 体のうち 57 体 (うち、48 体は新燃料集合体) を取り替えました。

また、健全性確認のため、一部の燃料集合体の外観検査 (30 体) も実施し、異常のないことを確認しました。

5. 次回定期検査の予定

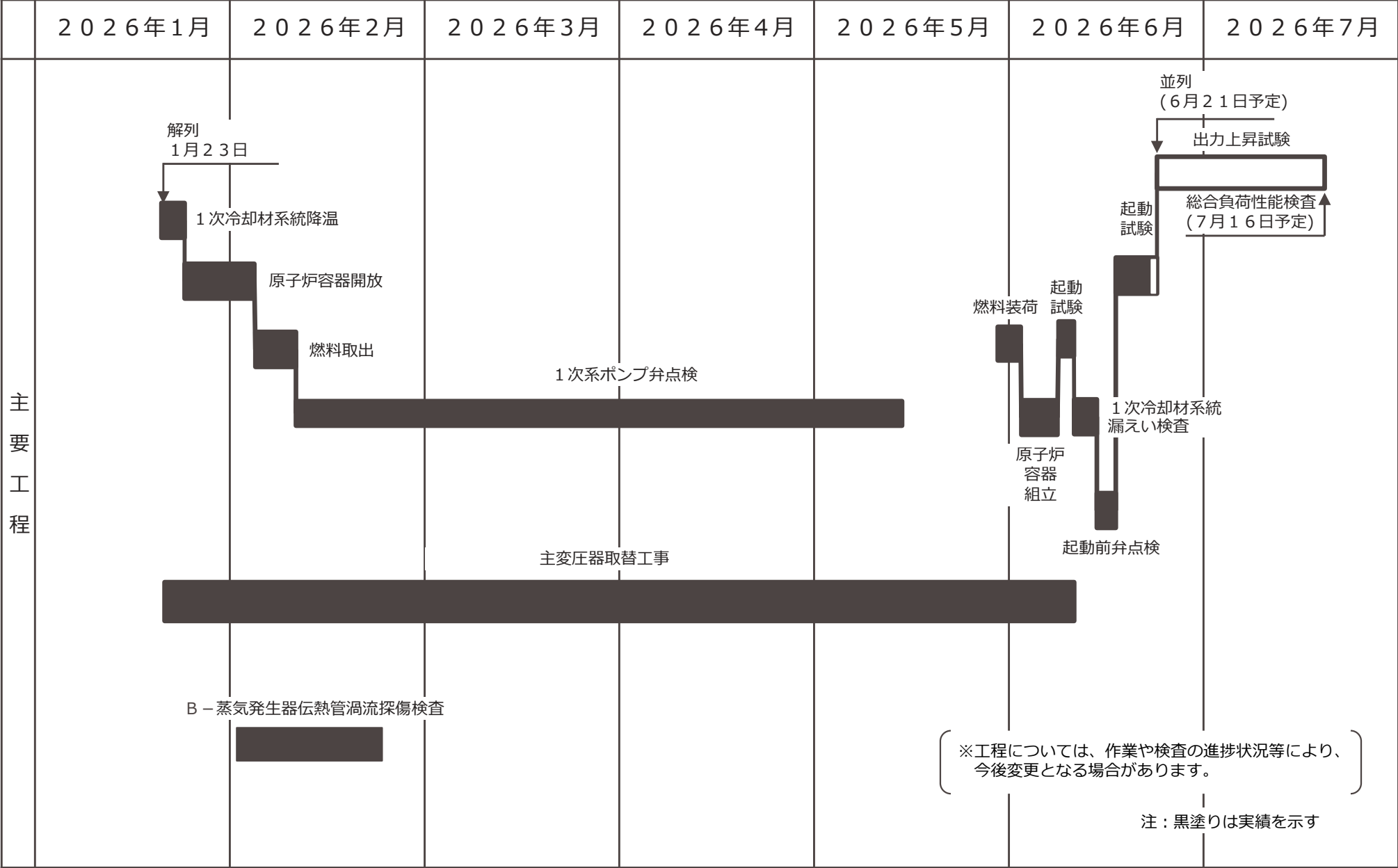
2027 年 8 月中旬

以 上

高浜発電所 2 号機 第 2 9 回定期検査の作業工程

別紙

(2 0 2 6 年 6 月 1 8 日 現 在)

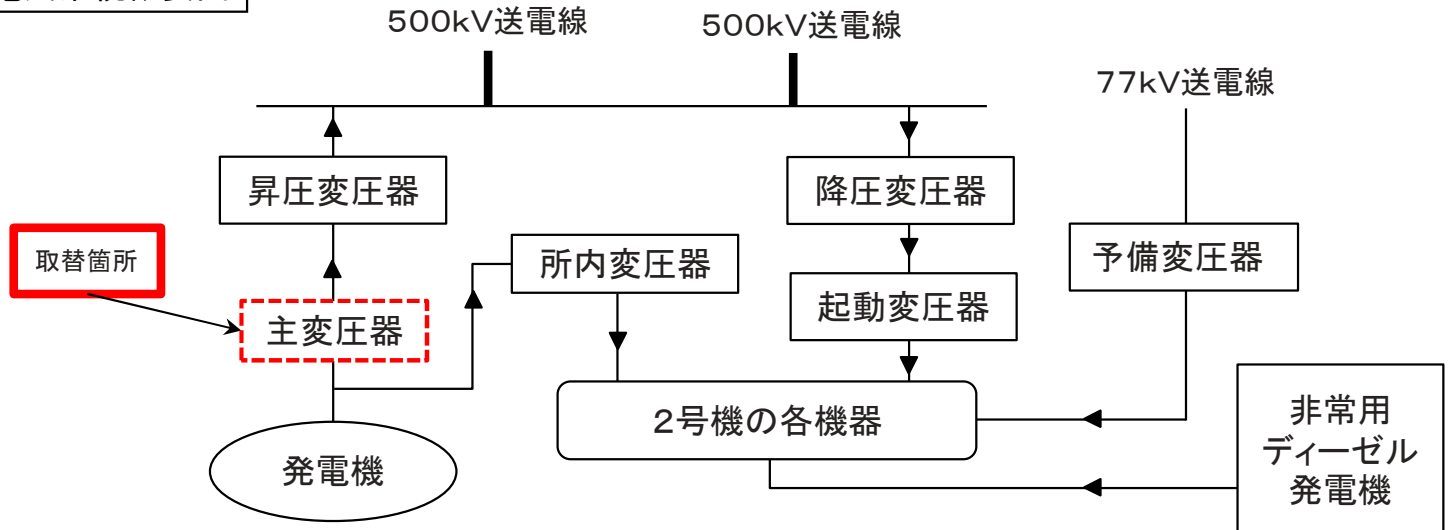


図－１ 主変圧器取替工事

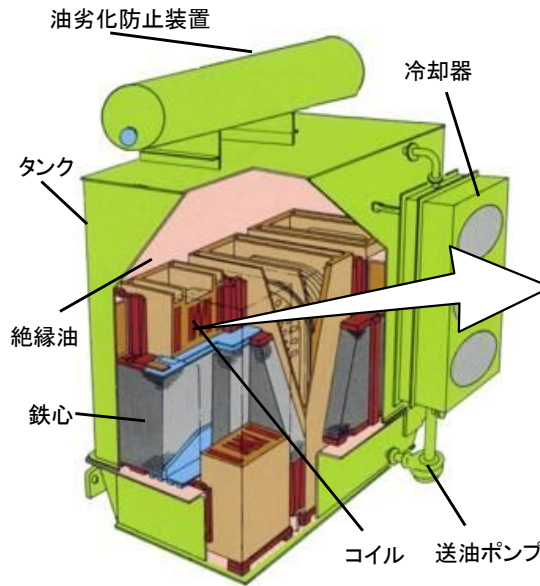
工事概要

主変圧器のコイル絶縁性能が経年劣化の傾向にあるため、予防保全として主変圧器を取り替えました。

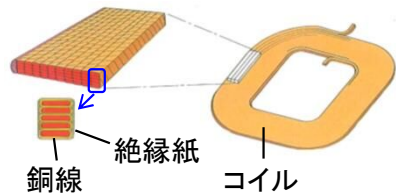
電気系統概要図



主変圧器概要図

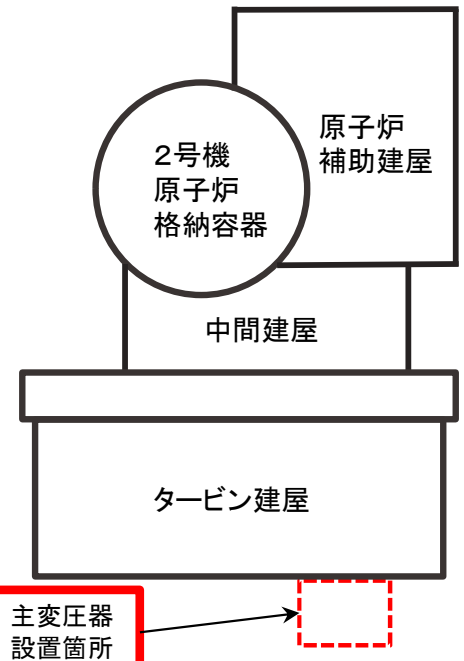


【コイルの絶縁性能の経年劣化】



コイルは、銅線数本を絶縁紙で巻き上げたもので、絶縁油が入ったタンク内にある。
絶縁紙は、長期間、変圧器運転温度の熱影響等を受けることで強度が低下（経年劣化）する。
この状態で、送電線事故等の外的要因により主変圧器コイルに電磁力が加わった場合、絶縁破壊に至る可能性がある。

主変圧器設置箇所図



	取替前の仕様	取替後の仕様
定格電圧	高圧275.0kV／低圧22kV	高圧262.5kV／低圧22kV
定格容量	860MVA	同左
外形寸法(全体)	約14.0m×約9.3m×約9.1m	約14.2m×約9.4m×約8.9m

図－2 2次系配管の保全対策

点検概要

今定期検査において、合計869箇所について超音波検査（肉厚測定）を実施しました。

○ 2次系配管肉厚の管理指針に基づく超音波検査（肉厚測定）

	「2次系配管肉厚の管理指針」 の点検対象部位	今回点検実施部位
		超音波検査（肉厚測定）
主要点検部位	1, 533	110
その他部位	812	759
合計	2, 345	869

交換概要

今定期検査において、合計5箇所について配管の取替えを実施しました。

交換理由	交換前	交換後	箇所	計
今後の保守性を考慮して取り替える箇所	炭素鋼	ステンレス鋼	4	4
他の作業（弁取替え）の施工性を考慮して取り替える箇所	ステンレス鋼	ステンレス鋼	1	1

[合計 5箇所]

<系統別概要図>

